

ボランティア ニュース

No.366

5月31日と6月15日に大野西小学校6年生の皆さんが福祉・ボランティア活動について学びました。

社協職員が「福祉ってなに？」について説明し、認知症キャラバンメイトのメンバーが認知症サポーター養成講座を行いました。

福祉体験として、障がい児(者)相談支援事業所「みんなの手」の先生、点訳グループ「てのひら」の皆さんと植原鈴枝さん、手話サークル「かざぐるま」の皆さんと社協職員で、「福祉ってなんだろう」をテーマに学習しました。

点字の体験では「ディズニーランドで踊りたい」「一日中ゲームしたい」など、今やってみたいことを点字にして植原さんに読んでもらいました。

手話の体験では、手話で自分の名前や挨拶ができるよう教えてもらいました。

「かざぐるま」のメンバーは、「小学校の取組みが協力的だから子どもたちもしっかり学習できるよね、手話も熱心に覚えているね」と話されていました。



大野西小 福祉学習！
福祉ってなんだろう！

やさしく
やさしく

「それいけカーブ」を早速覚えて手話で歌いました



段差があるね

今回の車いすの体験では校舎の外周で、段差やみぞ越え、砂利道坂道を体験しました。乗っていると、「こわかった、でも段差があるよ、坂道だよ、と声かけてくれたから安心できた」という感想が聞けました。「みんなの手」の先生に子どもたちから「大切にされてることは？」の質問に「笑顔で声かけ、相手に寄り添う気持ちが大切」と教えてもらいました。

大野西小学校の皆さんは福祉ボランティア体験をしてみて、困っていたら声掛けが出来る、気付ける、ちょっとした気遣いでお互いが良い気持ちになったと思います。



「点字が読めるようになって、困っている人の
お手伝いをすすんでしたい」と話していました

おしゃべり会

障がいのある子どもを育てる保護者が集まって「おしゃべり会」を行なっています。子育ての悩みを相談し合ったり、楽しくおしゃべりしたりと、さまざまな情報交換(…という名のおしゃべり)をしています。

徐々に参加者も増えて賑やかになっています。小さなお子様連れも大歓迎です。おしゃべりをしてリフレッシュ♪ 楽しく一緒に過ごしませんか

次回 9月13日(水)10時から12時



おうちで使わなくなった 浴衣ありませんか？

浴衣を集めています

おおの福祉会アダージョでは、浴衣の生地で作ぞうりを作っています。ご家庭で使わなくなった浴衣がありましたら、社協大野事務所までお持ちください

親子の居場所

「十人十色 おしゃべりサロン」

いろいろな理由で学校に行けていない子と保護者が集まって、情報交換ができる場です。

自分のペースで過ごせます！

まずはおしゃべりしませんか？

参加費無料、時間内は出入り自由です。

【とき】

令和5年8月10日(木)11時~15時

9月12日(火)11時~15時

【ところ】大野支所 3階 ボランティアセンター